

明

志

明徳館日和

秋田市立中央図書館明徳館

館長

齋藤

徹



秋田市立中央図書館明徳館
図書館だより
第 86 号

発行 令和3年3月19日
秋田市立中央図書館明徳館
秋田市千秋明徳町4番4号
電話 018-832-9220

新年に入つて、いきなりの爆弾低気圧、そして停電。翌日には15年ぶりの大雪。世は正に丑年、車は牛歩のごときで道路は大渋滞。我が街が雪国だつたことを忘れさせない新年早々でしたが、今回は既に懐かしさすら感じる昨年を振り返つて、心に残ることや明徳館の活動の一端などを紹介したいと思います。



現在も、つい立ての設置など、様々な感染症対策をおこなっています。

化講座、子ども向けの本の読み聞かせ等各種イベントを実施しています。市民文化講座については、たくさんの方に受講いただきたいという思いに反して、会場となる研修ホールはソーシャルディスタンスをとると40人しか受講できず、平常時の半分以下となってしまいます。そこで、受講希望者が150人を超える秋田スリバチ学会会長柳山努氏の超人気講座をYouTubeでのライブ配信に初挑戦。経験不足の不安の中、どうにか無事成功。コロナ禍においてデジタル化が有効だった事例の一例です。

手前味噌ですが、その中で秀逸だった一つが秋の読書週間に開催された「新聞連載小説を読む！」明治から現代まで」です。明治から現代までに掲載された29の連載小説とその作家25人をパネルで紹介し、所蔵している関連図書を展示・貸出しました。

各年代で主だったものを紹介する2冊の本を紹介します。1冊目はカミュ著「ペスト」。昨年4月頃から再びベストセラーです。ペストの蔓延した街がロックダウンされ、不条理の前に個人の幸福追求と誠実との葛藤。私の読解力では少しストレスを感じましたが、なんとか読み通してみると現在と状況が酷似して共感を覚えます。もう1冊は榆周平著「サリエルの命題」。

強毒性の新型インフルエンザウイルスを復讐に利用。ワクチンの無い中、感染拡大の恐怖が襲います。日本の保険医療や社会保障制度まで問題提起した1冊です。

どちらも明徳館に所蔵しておりますので、ステイホーム時にでもゆっくり読んでみてはいかがですか。

現在も未だ収束する気配がありましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症に振り回されました。とはいっても、昨年4月に全国緊急事態宣言を受けて閉館した以外は、感染症対策を徹底しながら開館を続けています。閉館期間は3週間でしたが、何人の利用者から開館が待ち遠しかったとの声が寄せられ、改めて図書館での時間が利用者の生活の一部であることを実感。市民にとって自宅でも職場でもない居心地のいい第三の場所、サードプレイスとしてホスピタリティの向上にこれまで以上に努めたいと思つた次第です。

さて、明徳館では図書資料の収集や本の貸出し、レンズなどのほかに、館内でテーマを設けた企画展示や市民文



▲展示「新聞連載小説を読む！～明治から現代まで～」

今後は、パソコンが苦手な高齢者や、web環境に無い市民のために市民サービスセンター市内7か所でリモートでの分散開催など、密を避け明徳館に来館しなくても受講できる体制が可能になります。コロナ禍にあっては、来館せずとも図書館サービスを享受できる仕組みを用意する必要があります。新しい生活様式に合わせた対応が求められています。

続いて紹介するのが、館内での本の企画展示。大小合わせて年間約80企画を開催しますが、司書スタッフは毎回苦心して、旬な話題や現代の重点課題等についてテーマを決定します。

新聞小説は時代を映す鏡です。また、読み手にもその時代時代の歴史があります。懐かしんで本を手にしてくださった利用者がいらっしゃいました。パネルには、明治時代から現代までの新聞紙面紹介もあり、思いがけず各時代の記事にも触れることができます。

最後に、私からコロナ禍に関連した2冊の本を紹介します。1冊目はカミュ著「ペスト」。昨年4月頃から再びベストセラーです。ペストの蔓延した街がロックダウンされ、不条理の前に個人の幸福追求と誠実との葛藤。私の読解力では少しストレスを感じましたが、なんとか読み通してみると現在と状況が酷似して共感を覚えます。もう1冊は榆周平著「サリエルの命題」。

強毒性の新型インフルエンザウイルスを復讐に利用。ワクチンの無い中、感染拡大の恐怖が襲います。日本の保険医療や社会保障制度まで問題提起した1冊です。

どちらも明徳館に所蔵しておりますので、ステイホーム時にでもゆっくり読んでみてはいかがですか。

もちろん明徳館に記念室がある石川

達三氏の作品も昭和32年朝日新聞の「人間の壁」ほか4作品を紹介しております。

市民文化講座の YouTubeライブ配信

本年度の市民文化講座「地形」で実感！秋田に残る『江戸の面影』と「イザベラ・バードが見た秋田』において、YouTubeライブ配信を行いました。

YouTubeは世界最大の動画共有サービスで、誰でも自分のチャンネルを開設し動画を公開することができます。この動画は、パソコンやスマートフォンなど、原則としていつでもどこからでも視聴が可能で、このため、今日では個人だけでなく、省庁や自治体、大企業なども公式チャンネルを開設し、広報に利用しています。



中央図書館明徳館のYouTubeライブ配信視聴の流れ

市立図書館ホームページと秋田市公式TwitterにURLが公開される。
配付資料がある場合は、ホームページからダウンロードする。

URLをクリックするとYouTubeに接続し待機映像が表示される。
配信が開始されると、会場カメラからの中継映像が視聴できる。



YouTubeライブ配信 Q&A

- Q. 視聴に申込みは必要？
A. 必要ありません
- Q. IDやパスワードなどは必要？
A. 必要ありません
- Q. 視聴できる人数に制限はある？
A. 何人でも視聴できます

もっと知りたいあなたに リモートワーク、zoom会議、無観客配信…etc. がわかる本

- 「YouTube Perfect GuideBook」
タトラエディット／著 ソーテック社 (007.35)
- 「これからのテレワーク」
片桐あい／著 自由国民社 (336)
- 「Zoom 基本&便利技」
マイカ／著 技術評論社 (007.35)
- 「『自宅オフィス』のととのえ方」
主婦の友社 (597)
- 「オンライン・セミナーのうまいやり方」
高橋龍征／著 クロスマedia・パブリッシング (007.35)

今年度は新型コロナウィルス感染拡大の影響によって例年より夏休みが短めでしたが、早い時期から子どもたちが学習に取り組む姿が見られ、いくつかのテーマに分けた図書のコーナーでは、興味を持つて読書に親しんでいるようでした。た。今後も図書館の利用が充実した夏休みへとつながることを願っています。



1階児童コーナーにおいて「調べ学習に役立つ夏休みチャレンジコーナー」を開設し、小学校の夏休み課題や自由研究の役に立つ図書、貸出におすすめの図書などの展示、貸出をしました。

●開催日：令和2年7月14日(火)～令和2年8月23日(日)

調べ学習に役立つ 夏休みチャレンジ コーナー

明徳館 子ども広場

小学生向けボランティア講座 「書架整理とボランティア体験」

●開催日時：令和2年9月27日(日)
午前11時～11時40分



ボランティア「おはなしの会」の皆さんによる、スペシャルなおはなし会には、13組の親子が参加してくれました。演目は、食欲の秋にちなみ、大型紙芝居やパネルシアターなど、「おいしいお話」が盛りだくさん。人形劇『おおきなかぶ』では、参加者の皆さんも一緒に「うんとこしょ、どっこいしょ」と声をかけてくれました。最後にはボランティアさん手作りのマスコットも配られ、笑顔あふれる会になりました。

ボランティアの皆さんは、毎週土曜日午後2時から明徳館親子コーナーで、幼児から小学校低学年までのお子さんを対象とした「おはなしの会」も行っています。紙芝居や絵本の読み聞かせなど楽しいお話がいっぱいです。

こちらにもぜひ、ご参加ください。



明徳館洋書コーナー



市民文化講座 「はじめての多読英語 ～図書館でたくさんの英語に触れよう～」

●開催日時：令和2年10月17日(土) 午前10時30分～12時
令和2年11月7日(土) 午前10時30分～12時

1回目は「多読って、何?」、2回目は「多読を続けるコツ」と題し、

全2回の講座を開催しました。講師は、秋田市内で英会話スクール「大人のあそなびばen」を主宰している山田佐和子氏。参加者は中学生から大人まで20名でした。

多読英語とは、絵本のような簡単な洋書から読み始め、少しづつレベルをあげながら、多くの洋書を読み進めていく学習方法。「英語は英語のまま理解する」「7～9割の理解度で読む」「つまらなければ、あとまわし」という多読3原則を守って、わからない単語があつても辞書で調べずに進めていくと、理解できる語

あと、いざ実践。わからないところは職員に聞きながら、収まるべきところへ本を戻していきます。この体験は、図書館へ来て、本を探すときに役に立ちます。

作業が終わつた後は、先輩ボランティアさんにインタビューの時間。皆さん、実際体験して疑問に思つたことを、積極的に聞いていました。

書架整理ボランティアの活動日は、毎週火、土、日曜日です。

枚数が増えていくように作られたテキストを使用します。

本講座では、講師が初級レベルの絵本を紹介してから、各自が自分のレベルにあつた本を選んで読んでもらいました。グループに分かれて読んだ本の感想やおすすめポイントを

話し合う時間では、個々の学習経験を交えた情報交換が行われ、講師からは、継続するための「楽しみながら学習する」ノウハウが伝授されました。

明徳館の洋書コーナーには、絵本から小説まで、多読学習に役立つ英語テキストが約700冊ありますので、お気軽に手に取ってご覧ください。

令和2年度事業

令和2年度に中央図書館明徳館で実施したものを紹介します。

子どもの読書週間資料展示

「本ではぐくむ 子どものこころ」

● 5/12～5/31

乳幼児の発達段階に合わせて、絵本を中心に行展示。また、小学生向けに昨年度の小学生の選書体験で選ばれた本を紹介。



石川達三記念室

「第1回芥川賞正賞懐中時計特別展示」

● 7/1～7/12、
1/26～2/7

第1回芥川龍之介賞の正賞である懐中時計を1階カウンター前に展示。



「中学生の選書体験」

● 9月～12月

司書が行っている選書と同様の手順で、本を選ぶ体験。

資料展示

「第2次健康あきた市21 (栄養・食生活)パネル展」

● 9/8～9/29

● 連携：保健予防課

食生活に関するパネルの展示、関連図書の展示・貸出し。



「明徳館子ども広場」

● 9/27

人形劇「おおきなかぶ」、ブラックパネルシアター「ハッピーバースディおつきさま」、エプロンシアター「はらべこあおむし」などの上演。

「書架整理とボランティア体験」

● 11/3

● 連携：市民交流サロン
書架整理体験やボランティアへのインタビュー。

読書週間企画資料展

「新聞連載小説を読む！～明治から現代まで～」

● 10/1～11/15

明治から現代までに新聞各紙で掲載された連載小説やその作家と石川達三の連載小説をパネルで紹介し、所蔵している関連図書を展示・貸出し。

市民文化講座

「はじめての多読英語

～図書館でたくさんの英語に触れよう～

● 10/17、11/7

● 講師：山田 佐和子氏（大人のあそまなびばen）
多読学習の入門講座。他の学習法との違い、自分のレベルにあわせて読み進めるコツを学ぶ。

「訪問おはなし会 －読書週間－」

● 10/27～11/9

期間中の平日に、子どもたちのいる施設で「おはなし会」を開催。

市民文化講座

「地形で実感！秋田に残る『江戸の面影』」

● 11/3、11/4

● 講師：柳山 努氏（秋田スリバチ学会 会長）
地形図・絵図・地図・現在の写真などから、久保田城下町の痕跡を中心にたどり、今日の秋田市の成り立ちを読み解く。

資料展示

「消費者生活パネル展」

● 12/1～12/20

● 連携：市民相談センター
消費者被害の防止や消費者問題に関するパネルの展示、関連図書の展示・貸出し。



「図書館のお仕事たいけん」

● 12/20

児童コーナーの書架整理、カウンター業務、おすすめ本の展示コーナー作りを体験。



資料展示

「若者自立支援事業パネル展」

● 12/22～1/17

● 連携：子ども総務課
若者自立支援に関するパネルの展示、関連図書の展示・貸出し。

資料展示

「市民サービスセンター サークル活動作品展示」

● 1/18～3/14

● 連携：生涯学習室
各サービスセンターで活動しているサークル等の作品展示、関連図書の展示・貸出し。

企画資料展

「イザベラ・バードの足跡をたどる in 図書館」

● 2/2～2/28

秋田魁新報の連載「新あきた紀行 イザベラ・バードの足跡をたどる」の連載紙面と未掲載の写真を展示し、あわせてバードの著作「日本奥地紀行」などの関連図書の展示・貸出し。

市民文化講座

「イザベラ・バードが見た秋田」

● 2/19、2/20

● 講師：小国 裕実氏（明徳館 元館長）
イギリスの探検家イザベラ・バードには、当時の秋田はどう映ったのか。文献を紐解きながら、明治の秋田を知る。